



島の自然を感じながらサイクリングを満喫

～利尻島一周

ふれあいサイクリング2025より～

◆記事一覧

- P 2 ● PMF修了生コンサート
消防・防災フェア2025
- P 3 ● 横野純貴氏によるサッカー教室
夏休みチャレンジ教室
- P 4 ● 山岳情報～無理なく安全な登山を～
- P 5 ● 地域おこし協力隊通信
- P 6 ● 保健師だより
- P 7 ● わがまちタイムスりっぷ
- P 8 ● 食改名誉会員／戸籍の窓口 他

令和 7 年

10月号

No.263

広報 

いしい富士



パシフィック・ミュージック・フェスティバル 修了生コンサート in 利尻島

9月11日(木)、利尻町交流促進施設どんとにて「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)修了生コンサートin利尻島」が開催されました。本公演はPMF修了生コンサート実行委員会(利尻しまじゅうエコミュージアム)が主催し、NPO法人北海道遺産協議会とイオン北海道株式会社の協賛により実現しました。

PMFは世界の若手音楽家を育てる国際教育音楽祭で、今回はその修了生5名による金管五重奏が披露されました。ゲストには利尻富士町観光大使の半崎美子さんを迎え、教科書にも掲載された「地球へ」や「ふるさと利尻島」を特別バージョンで歌唱。会場は満席となり、子どもから大人まで素晴らしい演奏と歌に心を動かされ、感動あふれるひとときとなりました。



この活動はイオン北海道株式会社発行の「ほっかいどう遺産WAON」寄付金からの助成により実施しました。「ほっかいどう遺産WAON」のご利用金額の一部が「NPO法人北海道遺産協議会」を通じて北海道遺産の保全活動に役立てられています。

消防・防災フェア2025を開催しました!

9月20日(土)、消防利尻富士支署前にて楽しみながら学べるイベントとして消防・防災フェアが開催されました。このイベントは、防火防災の様々な体験を通じて、町民に防火防災の重要性を改めて認識してもらい、意識の高揚及び普及啓発の促進を図ることを目的としています。

イベントには家族連れが多く参加し、消防車の乗車体験や放水体験、火災時の煙体験、実験装置を使った津波体験など様々な体験を行いました。

このような機会を通じて、今後も地域の方々に理解を深めていただき、防火・防災に対する意識の向上に努めてまいります。



北海道コンサドーレ札幌OB 横野純貴氏によるサッカー教室!!

7月18日(金)、町内の小学生・中学生を対象に「北海道コンサドーレ札幌×スプレスサッカークリニック」が開催されました。会場にはコンサドーレ札幌OBの横野純貴さんが来町し、子どもたちに直接指導や交流を行ってくださいました。

中学生には実践的な技術指導が行われ、熱のこもったトレーニングに参加者の目は真剣そのもの。憧れの元選手からの具体的なアドバイスに、プレーが一段と磨かれた様子でした。

一方、小学生は、横野純貴元選手による講演やサッカーを通じたレクリエーションに参加。「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力する楽しさ」にふれる時間となり、会場は笑顔でいっぱい。最後にはコンサドーレグッズの抽選会も行われ、当たった子どもたちの喜ぶ姿に大きな拍手が送られました。

本イベントは、当町のふるさと納税業務を担う中間事業者「株式会社スプレス」が、スポンサーであるコンサドーレ札幌と連携して実施したものです。スポーツを通じて子どもたちが成長する貴重な機会をいただきました。

プロの情熱と経験にふれることで、子どもたちにとって忘れられない一日となりました。



夏休みチャレンジ教室～夏の思い出がいっぱい～

利尻富士町青少年健全育成町民会議が主催となり、北海道教育大学旭川校の学生を招待して「夏休みチャレンジ教室」が子どもたちに向けて開かれました。

教員を目指す学生と子どもたちが島の自然とふれあい多くの学びと思い出をつくりました。



山岳情報 ～無理なく安全な登山を!～

警察署・消防署・役場で合同訓練!

7月25日(金)、稚内署・消防利尻富士支署・利尻富士町合同による山岳遭難を想定した救助訓練を消防利尻富士支署にて実施しました。

稚内署が主導となり、車輪がついたストレッチャーや背負い式搬送具など所有している道具の使用方法について確認し、それらを使った負傷者を搬送する訓練を実施致しました。

ロープを使った負傷者の引き上げ訓練も行い、救助の一連の動作について再確認致しました。今後の山岳事案に向けて三者の連携を強化する場となりました。



山の日の啓発活動 ～遭難対策を忘れずに～

「山の日」の8月11日(月)、北麓野営場にて稚内警察署と合同で利尻山登山者に対し山岳遭難防止の啓発運動を実施しました。利尻富士町役場と稚内警察署の職員で登山道入口にて啓発用品を配布し、その後、稚内警察署で山頂まで登りながら登山者に対して啓発活動を行いました。

これからの季節段々と日が短く、冬に向かって天候も不安定な季節となりますので、入山される際は遭難防止のため次の事項に注意してご入山いただくようお願い致します。

- 家族や友人に行き先と帰宅時間を知らせましょう。
- 出かける前に天気予報を確認しましょう。
- 目立つ服装をしましょう。
- 単独での入山を避け、複数人で行動しましょう。
- 携帯電話及び(バッテリーも)笛、食料、飲料水を持ちましょう。



地域おこし協力隊通信 vol.20

今回は小笠原隊員の活動についてご紹介いたします。

去年9月に地域振興推進委員に着任した小笠原です。島に来てから早いものでちょうど1年が経ちました。所属先は鬼脇支所に勤務しております。知らない土地で知らない環境でスタートし、はじめは仕事先や町の人達とうまく馴染んでいけるのかとても不安な毎日でしたが、皆さまに温かくお気遣いいただき、おかげさまで少しずつ馴染むことが出来ました。

仕事は主に地域イベントへ積極的に参加・運営協力、体験型ワークショップの実施、二石海岸公園の整備、オタマリ沼の遊歩道整備、たまに孵化場のお手伝いをしていました。

地域イベントでは主に町のお祭り関係、マルシェの運営等。今年行った『オタマリ沼を歩こう』は前主催者が転出されイベントを引継がせて頂きましたので来年は例年通りイベントを開催できるよう努めて参ります。

雪ん子広場では雪像作りや、前職を活かしお祭りでの子供向けヘアセットブースの設置、また出張先で利尻のPRブースに参加し地元の特産品や魅力を積極的に発信してきました。

町内で開催されるイベントや行事にも積極的に参加し地域の皆さんと顔の見える関係作りを進めています。交流を通して地域の魅力や課題を直接感じ取り、今後の活動に活かしていけたらと思っております。

体験型ワークショップの企画・開催については『利尻の笹を使った納豆作り』ワークショップを開催。その間に山菜や野草の勉強をし【山菜ソムリエ】の資格を取り、新たに『フキノトウ味噌作り体験』、キムチ作りの先生とコラボし『季節の山菜を使ったキムチ作り』、『ヨモギバーム作り』等のワークショップを開催しました。地域の自然資源や知恵を活かした体験型ワークショップを実施することによって、地域住民や外部からの参加者との交流を図ることが出来ました。今後も地元産品を使用した簡単なワークショップを提供していこうと思います。



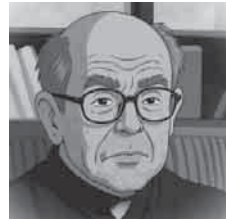
活動を通じて、多くの方々にご協力・ご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。まだまだ未熟で学ぶ事ばかりですが、一歩ずつ成長していきたいです。今後も地域の一員として、持続可能で魅力ある町づくりに取り組んでまいります。



保健師だより

総合保健福祉センター

人生にとって 健康は目的ではない。 しかし最初の条件なのである。



小説家 武者小路実篤

健康※1は「手段」であり、「目的」ではありません。

健康であることは、人生でやりたいことや達成したい目標を可能にするための道具です。健康がなければ、たとえどんな願望や目標があっても、それを実現するための行動を起こすことが難しく、または不可能になります。

私たちは、日々の忙しさから当たり前の生活の中の幸せに気づくことはありません。しかし、病気や体調不良になったときにその幸せに気づくものかもしれません。

利尻富士町で行っているすこやか健診は、皆さんの生活が当たり前のように送れるための「手段」です。

「仕事で時間が取れない」、「悪いのが見つかったらいやだ」、「病院へ受診しているから大丈夫」と思っている方も病気が進行する前に早期に発見することが、人生を楽しむという道に進んでいくと思います。

皆さんはいかがですか？人生でやりたいことはありませんか？

※1「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。」（日本WHO協会訳）

〈個別健康診査のお知らせ〉

実施
期間

令和7年11月～令和8年3月まで

対象
者

国民健康保険加入者、後期高齢者

申込
方法

保健センターへ予約

検診
場所

利尻島国保中央病院または
北海道がん検診センター



詳しくは保健センター（☎82-2320）までご連絡ください。

わがまち
タイムスりっぷ

連載⑥7 積丹半島沖地震：
利尻島にもたらされた津波被害

近年、大きな地震による津波の発生は、7月に起きたカムチャツカ半島地震でも記憶に新しいですね。利尻島は津波の影響をあまり受けない土地ですが、今から85年前の昭和15年（1940年）に発生した積丹半島沖地震では、遠く離れた場所で起きたにもかかわらず、津波が到達し甚大な被害がありました。

当時の様子は、鬼脇警察分署の「沿革誌」に詳細に記録されています。地震発生について「8月2日午前0時15分頃約1分間水平動の強震あり」、津波について「午前3時頃高さ約7尺（2m強）の海嘯（津波）あり」と書かれ、津波は約30分間続いたとされています。

この津波は島全体で300隻近くの漁船を流失・破損させました。特に被害が大きかったのは、鬼脇、仙法志、沓形の各村です。当時の漁船の被害状況は以下の通りです。

地 区	磯 舟	発動機船
鬼 脇 村	流失70、大破2	流失6、小破1
鴛 泊 村	流失8	
沓 形 村	流失20、大破30、小破70	
仙法志村	流失25、大破27、小破39	
合 計	流失123、大破59、小破109	

また当時、本泊に在住していた鈴木憲三さんの日記にも、この大地震のことが克明に記されています。利尻ではかつて経験したことのないほどの強い揺れで、本泊でも磯舟や木コなどが流される被害があったとのこと。

この津波は天塩と宗谷で最もひどい被害をもたらし、天塩では死者10名が出たほか、流失した材木は1万5千石にものぼりました。掲載している写真は、その天塩川河口の被害を物語っています。

こうした遠方で発生した地震でも、時に津波が押し寄せ被害をもたらすことがあります。歴史の教訓として、日頃から防災意識を持つことがとても大切です。



この写真は、天塩町教育委員会のご厚意により提供されたものです（土田甲太郎さん・有田あい子さん旧蔵）。鈴木憲三さんの日記は鈴木祐尚さんから情報提供いただきました。残念ながら、利尻島の津波被害を捉えた当時の写真は手元にありません。もし当時の津波被害の写真をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。（教育委員会 山谷 ☎82-1370）

利尻富士町民

綿谷 タケさん(享年95歳)

昭和56年、利尻富士町食生活改善推進員協議会が設立。

綿谷さんは、20年以上の長きに亘り会長職を務めたほか、食を通じた地域住民の健康づくりに寄与されました。

令和2年度、全国食生活改善推進委員協議会から地域で活躍している会員を表彰する「名誉会員賞」が贈られ、島内では綿谷さんが初めての受賞でした。

利尻富士町の食と健康を守るため、たくさんのお力添えをいただき心から感謝申し上げます。

(令和7年8月11日ご逝去)



戸籍窓口の

♡ご結婚おめでとうございます♡

月 日	氏 名	住所	氏 名	住所
R 7.6.30	青山 佳祐 様	栄町2	石山 奈々 様	旭川市

◆お悔やみ申しあげます◆

氏 名	月 日	年齢	住所	氏 名	月 日	年齢	住所
平川 キヤ 様	R 7.5.5	100歳	鬼脇 1	室矢 義信 様	R 7.5.10	76歳	栄町 1
澤田 勲 様	R 7.5.14	73歳	鬼脇 2	道心 陽一 様	R 7.5.15	67歳	栄町 2
亀田 幸子 様	R 7.5.17	99歳	雄忠志内	福士 廣 様	R 7.5.18	96歳	野 塚
藤田 靖子 様	R 7.5.26	67歳	港 町	濱田 久子 様	R 7.6.9	79歳	大 磯
若木 恵子 様	R 7.6.22	72歳	鬼脇 1	西谷 利男 様	R 7.6.22	96歳	鬼脇 1
佐藤 トヨ 様	R 7.6.30	93歳	旭 浜	高野 昌 様	R 7.7.14	91歳	本 町
柴田富美子 様	R 7.7.22	79歳	栄町 2	渡辺ミサエ 様	R 7.8.3	97歳	鬼脇 1
山田 武郎 様	R 7.8.8	84歳	鬼脇 1	綿谷 タケ 様	R 7.8.11	95歳	鬼脇 2
加路 朝子 様	R 7.8.12	80歳	港 町	加藤キヌエ 様	R 7.8.18	95歳	金 崎

編集後記

10月に入り気温も下がり始めだんだんと秋が感じられる季節となりました。
さて、夏から始まったお祭りやイベントも一区切りとなりましたが今年のイベントは天気にも恵まれ、太陽の下ではつらつと町民皆様が行事・イベントに参加している様子を見たこと、また事務局として一緒に運営できたことを喜ばしく思います。
さて宗谷管内では、7月に津波注意報、8月、9月には大雨警報が発表され、本町で大きな被害はなかったものの災害対策への意識や継続的な危機管理体制の維持が改めて必要と思い知らされました。
秋から冬にかけても台風や低気圧など不安定な天候の多い季節となります。皆様少しでも安心して生活できるよう引き続き万全な防災対策に努め、この季節を乗り切れるよう願っております。

人口のうごき (令和7年8月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	729	757	1,486	806
鬼脇	292	330	622	377
合計	1,021	1,087	2,108	1,183